



総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

しょうがくせい

じょうほう

たいさく

小学生のための情報セキュリティ対策

ここでは、小学生（しょうがくせい）のために必要（ひつよう）な情報（じょうほう）セキュリティについての基本的（きほんてき）なことがらを説明（せつめい）します。そして、インターネットを利用（りよう）する上（うえ）で知（し）っておきたいことをまとめてあります。難（むずか）しい言葉（ことば）やわからないことは、先生（せんせい）や家族（かぞく）に教（おし）えてもらったり、友（とも）だちと相談（そうだん）しながらひとつひとつ確認（かくにん）してみましょう。

💡 情報（じょうほう）セキュリティって何（なに）？	2
個人情報（こじんじょうほう）の取（と）り扱（あつか）いに注意（ちゅうい）しよう	3
プライバシーの保護（ほご）	5
ウイルスって何（なに）？	6
悪意（あくい）のあるホームページ	8
ソフトウェアを最新（さいしん）に保（たも）とう	9
チェーンメールに注意（ちゅうい）しよう	10
迷惑（めいわく）メールへの対応（たいおう）	11
スパイウェアに注意（ちゅうい）しよう	13
💡 自分（じぶん）の情報（じょうほう）セキュリティを守（まも）ろう	14

特（とく）に重要（じゅうよう）な項目（こうもく）には 💡 マークがついています。



総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

じょうほう

情報セキュリティって何？

なに



じゅうよう!

情報（じょうほう）セキュリティとは、コンピュータとそのコンピュータにおいて、さまざまな情報（じょうほう）を守（まも）ることを言（い）います。特（とく）に、インターネットを利用（りよう）する場合（ばあい）には、コンピュータや自分（じぶん）の情報（じょうほう）を守（まも）るために、たくさんのことを知（し）っておかなければなりません。

私（わたし）たちが生活（せいかつ）している社会（しゃかい）において、泥棒（どろぼう）や暴力（ぼうりょく）などの犯罪（はんざい）が起（お）きると同（おな）じように、コンピュータの社会（しゃかい）にも情報（じょうほう）の盗難（とうなん）やコンピュータシステムの破壊（はかい）といった犯罪（はんざい）があります。その中（なか）で安全（あんぜん）にインターネットを利用（りよう）するには、コンピュータ社会（しゃかい）の犯罪（はんざい）から身（み）を守（まも）るための情報（じょうほう）セキュリティ対策（たいさく）が必要（ひつよう）です。

たとえば、ウイルスの対策（たいさく）をしていないと、自分（じぶん）だけでなく、友（とも）だちなどにも、迷惑（めいわく）をかけてしまうことがあります。また、電子掲示板（でんしけいじばん）やホームページなどにおける、個人情報（こじんじょうほう）の取（と）り扱（あつか）いに注意（ちゅうい）していなければ、とんでもないトラブルを発生（はっせい）させてしまうかもしれません。

すべての利用者（りようしゃ）が情報（じょうほう）セキュリティに対（たい）する正（ただ）しい知識（ちしき）を持（も）つことが、誰（だれ）もが安心（あんしん）して利用（りよう）できるIT（アイティ）社会（しゃかい）を作（つく）りあげることになるのです。





総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

こじんじょうほう と あつか ちゅうい 個人情報^{こじんじょうほう}の取り扱い^{あつか}に注意^{ちゅうい}しよう

名前（なまえ）や住所（じゅうしょ）、電話番号（でんわばんごう）、メールアドレスといったひとりひとりの人間（にんげん）に関（かん）する情報（じょうほう）のことを個人情報（こじんじょうほう）と言（い）います。インターネットはいろいろな人（ひと）が利用（りよう）するため、これらの個人情報（こじんじょうほう）を電子掲示板（でんしけいじばん）には絶対（ぜったい）に書（か）き込（こ）まないように注意（ちゅうい）しましょう。

たとえば、電子掲示板（でんしけいじばん）に自分（じぶん）のメールアドレスを書（か）き込（こ）んだ場合（ばあい）、もしかしたら変（へん）な人（ひと）からいやがらせの電子（でんし）メールが送（おく）られてくるかもしれません。インターネットには、どんな人（ひと）が参加（さんか）しているかがわからないため、自分自身（じぶんじしん）が書（か）き込（こ）む内容（ないよう）に注意（ちゅうい）するしかありません。

このような理由（りゆう）から、インターネットの電子掲示板（でんしけいじばん）には、できるだけ自分（じぶん）の個人情報（こじんじょうほう）は書（か）き込（こ）まないようにすることが大切（たいせつ）です。もちろん、家族（かぞく）や友（とも）だちの個人情報（こじんじょうほう）も同様（どうよう）です。

これは、自分（じぶん）でホームページを作（つく）った場合（ばあい）にも同（おな）じことが言（い）えます。ホームページの自己紹介（じこしょうかい）のところには名前（なまえ）だけを書（か）くようにして、学校名（がっこうめい）や住所（じゅうしょ）、電話番号（でんわばんごう）をのせてはいけません。





総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

また、最近（さいきん）では、登録（とうろく）した人（ひと）だけが参加（さんか）できる SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）というサービスが増（ふ）えてきています。多（おお）くの SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）では、あらかじめ自分（じぶん）の自己紹介（じこしょうかい）（プロフィール）を登録（とうろく）しておくようになっていますが、この場合（ばあい）にも学校名（がっこうめい）や住所（じゅうしょ）、電話番号（でんわばんごう）はできるだけ記入（きにゅう）しないようにしてください。どうしても登録（とうろく）しなければならない場合（ばあい）には、家族（かぞく）の方（かた）に登録（とうろく）する内容（ないよう）を確認（かくにん）してもらいましょう。

それと、もうひとつ注意（ちゅうい）しなければならないことがあります。それは、見（み）に行（い）ったホームページに自分（じぶん）の個人情報（こじんじょうほう）を登録（とうろく）する際（さい）にも、慎重（しんちょう）に行（おこな）うようにすることです。これは、そのホームページを作（つく）った人（ひと）が悪意（あくい）を持（も）っている場合（ばあい）には、登録（とうろく）した個人情報（こじんじょうほう）を他（ほか）の人（ひと）に売（う）ってしまったり、手（て）に入（い）れた住所（じゅうしょ）や電話番号（でんわばんごう）を別（べつ）の悪（わる）いことに利用（りよう）したりすることがあるためです。

個人情報（こじんじょうほう）の扱（あつか）い方（かた）は、とても難（むずか）しいものです。わからないところがあったり、自分（じぶん）でホームページを作（つく）ったりしたときには、必（かなら）ず先生（せんせい）や家族（かぞく）に相談（そうだん）するようにしましょう。



総務省

国民のための情報セキュリティサイト



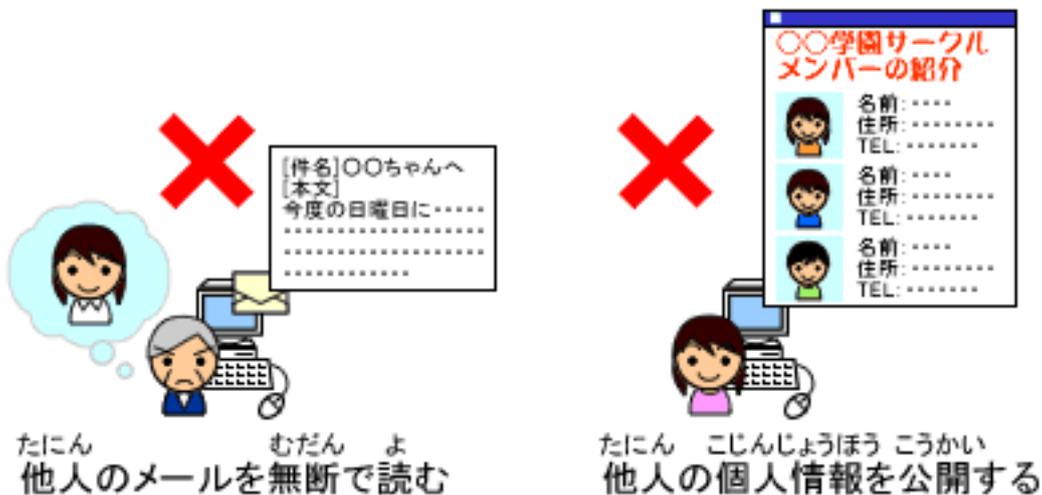
「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

プライバシーの保護

プライバシーとは、“私人（しじん）の秘密（ひみつ）”、“他人（たにん）の干渉（かんしょう）を許（ゆる）さない、各個人（かくこじん）の私生活上（しせいかつじょう）の自由（じゆう）”のことです（広辞苑（こうじえん）より引用（いんよう））。誰（だれ）でも、自分（じぶん）の秘密（ひみつ）をできるだけ他人（たにん）には知（し）られたくはないはず（はず）です。そのため、人（ひと）のプライバシーに関（かん）することを勝手（かって）に公開（こうかい）しないようにしましょう。

それでは、インターネットの世界（せかい）では、どのようなことがプライバシーの侵害（しんがい）になるのかを考（かんが）えてみましょう。たとえば、自分（じぶん）が知（し）らないところで、友（とも）だちがインターネットの電子掲示板（でんしけいじばん）にあなたの名前（なまえ）と学校名（がっこうめい）、そして昨日（きのう）の学校（がっこう）での失敗談（しっぱいだん）を書（か）き込（こ）んでいたら、どのように感（かん）じるでしょうか。たくさんの人（ひと）にあなたの失敗（しっぱい）が知（し）られてしまったと思（おも）うと、とてもいやな気持（きも）ちになるはず（はず）です。このように、人（ひと）にいやな気持（きも）ちをさせてしまう情報（じょうほう）を公開（こうかい）することは、プライバシーの侵害（しんがい）にあたります。

それからもうひとつ注意（ちゅうい）しなければならないのは、電子（でんし）メールも個人（こじん）の重要（じゅうよう）なプライバシーであるということです。つまり、家族（かぞく）や友（とも）だちのものであっても、本人（ほんにん）の許可（きょか）なしに、人（ひと）の電子（でんし）メールを読（よ）んでしまうとプライバシーの侵害（しんがい）になります。





総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

なに ウイルスって何？

ウイルスとは、悪意（あくい）を持（も）った人（ひと）が作（つく）ったプログラムです。コンピュータがウイルスを実行（じっこう）してしまうと、画面（がめん）に変（へん）な文字（もじ）や絵（え）がでてきたり、コンピュータシステムを壊（こわ）してしまったりすることがあります。

人間（にんげん）や動物（どうぶつ）に感染（かんせん）する病原体（びょうげんたい）（ウイルス）と同（おな）じように、感染（かんせん）したコンピュータから他（ほか）のコンピュータにプログラムを移（うつ）してしまうことがあるため、このようなプログラムはウイルスと呼（よ）ばれています。

最近（さいきん）のコンピュータウイルスはとても強力（きょうりょく）なものが増（ふ）えてきていて、電子（でんし）メールやホームページを利用（りよう）して、あっという間（ま）に世界中（せかいじゅう）に感染（かんせん）してしまうこともあるほどです。

インターネットを利用（りよう）する場合（ばあい）にウイルス対策（たいさく）をしていないと、あなたの大切（たいせつ）なコンピュータが被害（ひがい）を受（う）けるだけでなく、友（とも）だちのコンピュータをウイルスに感染（かんせん）させてしまうかもしれません。そのためにも、ウイルス対策（たいさく）ソフトをコンピュータに入（い）れておくことが、インターネットを利用（りよう）する上（うえ）での最低限（さいていげん）のマナーなのです。そして、ウイルス対策（たいさく）ソフトのウイルス検知用（けんちよう）データは、いつでも最新（さいしん）のものに更新（こうしん）しておかなければなりません。

また、ウイルス対策（たいさく）ソフトの代（か）わりに、プロバイダのウイルス対策（たいさく）サービスを利用（りよう）することもできます。一度（いちど）、家族（かぞく）の方（かた）と一緒に（いっしょ）に、自分（じぶん）の使（つか）っているコンピュータでどのようにウイルス対策（たいさく）を行（おこ）なっているかということを確認（かくにん）してみましょう。





総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

ちゅうい

最近（さいきん）、ただで使（つか）うことができるウイルス対策（たいさく）ソフトのように見（み）せかけて、ウイルスをインストールさせる手口（てぐち）による被害（ひがい）が増（ふ）えているため、注意（ちゅうい）しましょう。

たとえば、あなたが見（み）に行（い）ったホームページで「あなたのコンピュータはウイルスに感染（かんせん）しています」のようなメッセージが表示（ひょうじ）され、「すぐにこのソフトウェアをインストールしてください」などのように、ウイルス対策（たいさく）ソフトをインストールするようにすすめられてもすぐに信（しん）じてはいけません。

ホームページを見（み）ているだけでウイルス対策（たいさく）ソフトをインストールするようにすすめられた場合（ばあい）には、リンク先（さき）のホームページを見（み）に行（い）ったり、ソフトウェアをダウンロード / インストールしたりしないようにしてください。



総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

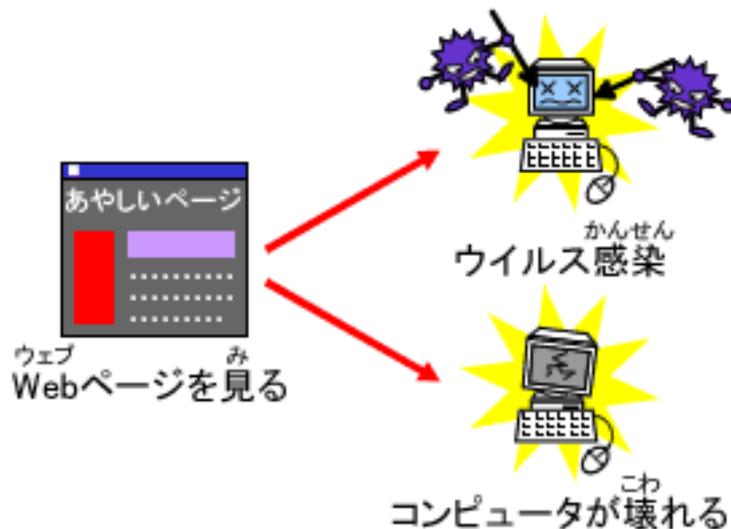
あく い

悪意のあるホームページ

インターネットでは、世界中（せかいじゅう）のホームページを見（み）ることができますが、とても残念（ざんねん）なことに、中（なか）にはいたずらを目的（もくてき）とした悪質（あくしつ）なものもあります。特（とく）に悪質（あくしつ）なものは、ホームページを見（み）ただけで、コンピュータシステムが壊（こわ）れてしまったり、ウイルスに感染（かんせん）してしまったりするものがあります。場合（ばあい）によっては、あなたのコンピュータに保存（ほぞん）してある大切（たいせつ）な情報（じょうほう）が盗（ぬす）み出（だ）されてしまうかもしれません。

このような悪意（あくい）のあるホームページから自分（じぶん）のコンピュータを守（まも）るためには、必（かなら）ずウイルス対策（たいさく）ソフトを入（い）れておくことと、怪（あや）しいホームページにはできるだけ注意（ちゅうい）することが大切（たいせつ）です。

また、インターネットの電子掲示板（でんしけいじばん）では、いやがらせの目的（もくてき）で悪（わる）さをするホームページへ移動（いどう）するためのリンクを貼（は）り付（つ）ける場合（ばあい）があるので、むやみにリンクをクリックしないようにしなければなりません。





総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

ソフトウェアを最新に保とう

OS（オーエス）、Web（ウェブ）ブラウザ、電子（でんし）メールソフト、Office（オフィス）アプリケーションなどのソフトウェアには、時間（じかん）の経過（けいか）とともに、セキュリティホールと呼（よ）ばれる不具合（ふぐあい）が発見（はっけん）されることがあります。セキュリティホールをそのままにしていると、たとえウイルス対策（たいさく）ソフトを入（い）れておいたとしても、ウイルスに感染（かんせん）してしまったり、ウイルス付（つ）きの電子（でんし）メールが自動的（じどうてき）に友（とも）だちに送（おく）られてしまったり、悪意（あくい）のあるホームページを見（み）ただけでコンピュータシステムが壊（こわ）れてしまったりすることがあります。

ソフトウェアを作（つく）ったメーカーから、セキュリティホール対策（たいさく）のための追加（ついか）ソフトウェアがそのメーカーのホームページ等（など）で配（くば）られることがあるので、家族（かぞく）に相談（そうだん）して、それらの追加（ついか）ソフトウェアを入（い）れるように心（こころ）がけましょう。





総務省

国民のための情報セキュリティサイト



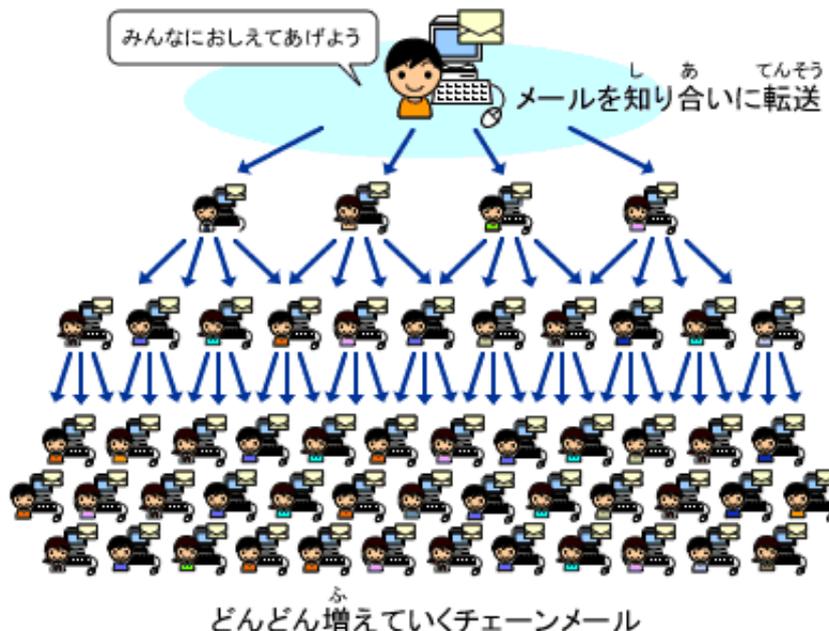
「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

チェーンメールに注意しよう

友（とも）だちから「他（ほか）の友（とも）だちにも教（おし）えてあげてね」や「できるだけ多（おお）くの人（ひと）に広（ひろ）めてください」、「この電子（でんし）メールを5人（にん）に送（おく）らないと不幸（ふこう）になります」などという電子（でんし）メールを受（う）け取（と）ったことがありますか。このような文章（ぶんしょう）によって、わざと電子（でんし）メールを広（ひろ）めさせるような仕掛（しか）けがしてある電子（でんし）メールをチェーンメールと呼（よ）びます。

チェーンメールは、電子（でんし）メールを受（う）け取（と）った人（ひと）が次々（つぎつぎ）と友（とも）だちに電子（でんし）メールを送（おく）るために、あっという間（ま）に広（ひろ）まってしまいます。チェーンというのは鎖（くさり）のことで、電子（でんし）メールが鎖（くさり）のように長（なが）くつながることからこのような名前（なまえ）がつけられました。

チェーンメールの内容（ないよう）には、いたずら目的（もくてき）の「うそ」や「デマ」が含ま（ふく）まれていることがあります。また、このようなチェーンメールがたくさんの人（ひと）に広（ひろ）まってしまうと、大量（たいりょう）の電子（でんし）メールが送（おく）られることで、ネットワークの速度（そくど）が遅（おそ）くなってしまうこともあります。そのため、自分（じぶん）がチェーンメールを受（う）け取（と）っても、他（ほか）の人（ひと）には送（おく）らないようにしなければなりません。チェーンメールかどうかわからないときには、必（かなら）ず先生（せんせい）や家族（かぞく）に相談（そうだん）するようにしましょう。





総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

めいわく

たいおう

迷惑メールへの対応

受（う）け取（と）る人（ひと）が望（のぞ）んでいないのに、一方的（いっぽうてき）に送（おく）られてくる電子（でんし）メールのことを迷惑（めいわく）メールと呼（よ）んでいます。商品（しょうひん）やサービスの宣伝（せんでん）などが書（か）かれていることが多（おお）く、スパムメールとも呼（よ）ばれます。

これらの電子（でんし）メールは、他（ほか）の電子（でんし）メールを受（う）け取（と）るのにも時間（じかん）がかかるなど、受（う）け取（と）る側（がわ）に大（おお）きな負担（ふたん）をかけるため、最近（さいきん）では社会問題（しゃかいもんだい）のひとつになっています。また、いやがらせのために送（おく）りつけられる大量（たいりょう）の無意味（むいみ）な電子（でんし）メールも、迷惑（めいわく）メールのひとつです。

迷惑（めいわく）メールの対策（たいさく）としては、ホームページのアンケートや電子掲示板（でんしけいじばん）などにメールアドレスをむやみに書（か）き込（こ）まないことや、使用（しよう）するメールアドレスをわかりにくいものにするなどが考（かん）がえられます。

最近（さいきん）では、携帯電話（けいたいでんわ）に対（たい）する迷惑（めいわく）メールが急（きゅう）に増（ふ）えたことが大（おお）きな問題（もんだい）となっています。このような迷惑（めいわく）メールを受信（じゅしん）しないようにするためには、

- ① 長（なが）く複雑（ふくざつ）なメールアドレスを使用（しよう）する。
- ② 指定（してい）したドメインや相手（あいて）からの電子（でんし）メールのみ受信（じゅしん）するように設定（せってい）する。
- ③ 必要以上（ひつよういじょう）に自分（じぶん）のアドレスを他人（たにん）に漏（も）らさない。

といった自分（じぶん）のできる対策（たいさく）も大（おお）きな効果（こうか）があるので、できるだけ実施（じっし）してみましょう。



総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

また、コンピュータで電子（でんし）メールを使（つか）う場合（ばあい）には、以下（いか）のような対策（たいさく）を行（おこ）なってみましょう。

プロバイダでいらぬ電子（でんし）メールを受（う）け取（と）らないように設定（せつてい）する。

迷惑（めいわく）メールフィルタを使用（しよう）する。

迷惑（めいわく）メールフィルタは、電子（でんし）メールの内容（ないよう）を調（しら）べて、迷惑（めいわく）メールであると自動的（じどうてき）に判断（はんだん）してくれるものです。迷惑（めいわく）メールフィルタの使（つか）い方（かた）については、家族（かぞく）の方（かた）に相談（そうだん）してみましょう。

なお、受（う）け取（と）る人（ひと）が望（のぞ）んでいない広告（こうこく）メールを送（おく）るときには、「今後（こんご）送信（そうしん）を必要（ひつよう）としない場合（ばあい）には、こちらのメールアドレスまでご連絡（れんらく）ください」といった内容（ないよう）を載（の）せることが法律（ほうりつ）で決（き）められています。相手（あいて）に、広告（こうこく）メールを送（おく）らないで欲（ほ）しいということを伝（つた）える際（さい）には、氏名（しめい）や住所（じゅうしょ）などの個人情報（こじんじょうほう）をできるだけ教（おし）えないように気（き）を付（つ）けましょう。





総務省

国民のための情報セキュリティサイト



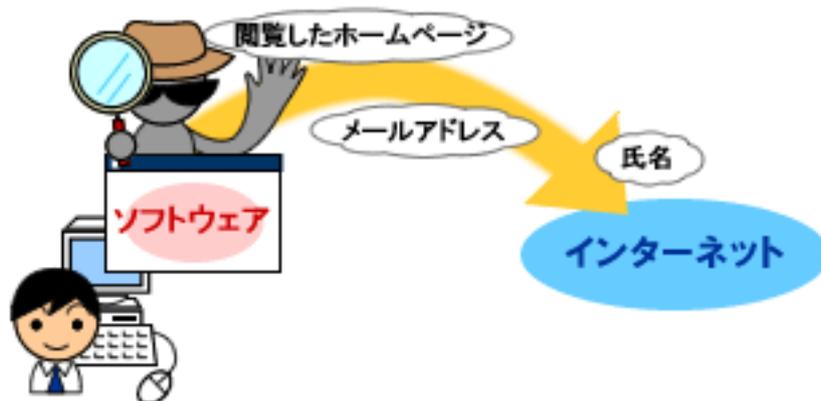
「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

スパイウェア^{ちゅうい}に注意しよう

スパイウェアとは、コンピュータを利用（りよう）している人（ひと）が気付（きづ）かないうちに、勝手（かって）にインターネットに情報（じょうほう）を送（おく）るソフトウェアのことです。このスパイウェアは、お店（みせ）で販売（はんばい）しているソフトウェアやインターネットで配布（はいふ）されているソフトウェアに付属（ふぞく）していたり、ホームページを見（み）たときに自動的（じどうてき）に入（い）れられてしまったりすることもあります。

このようなスパイウェアには、ソフトウェアを買（か）った人（ひと）の情報（じょうほう）を自動的（じどうてき）に集（あつ）めてしまうものや、そのコンピュータを使（つか）っている人（ひと）がインターネットをどのように使（つか）っているかまで収集（しゅうじゅう）しているものもあって、最近（さいきん）ではプライバシーや個人情報（こじんじょうほう）を守（まも）るために大（おお）きな問題（もんだい）となってきました。

これらのスパイウェアの活動（かつどう）から個人情報（こじんじょうほう）を守（まも）るためには、スパイウェア自体（じたい）をコンピュータから削除（さくじょ）してしまう方法（ほうほう）と、スパイウェアがインターネットにデータを送信（そうしん）することをやめさせてしまう方法（ほうほう）があります。スパイウェアを削除（さくじょ）するには、専用（せんよう）のソフトウェアを利用（りよう）します。また、個人用（こじんよう）のセキュリティ対策（たいさく）ソフトの中（なか）には、ウイルス対策（たいさく）の機能（きのう）とパーソナルファイアウォールという機能（きのう）のほかに、このようなスパイウェアによる情報（じょうほう）の送信（そうしん）をやめさせることができる機能（きのう）を持（も）っているものもあります。これらのソフトウェアについては、先生（せんせい）や家族（かぞく）に相談（そうだん）してみましょう。





総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

自分の情報セキュリティを守ろう



じゅうよう!

自分（じぶん）の情報（じょうほう）セキュリティを守（まも）るには、何（なに）よりもインターネットの危険性（きけんせい）をきちんと理解（りかい）しておくことが大切（たいせつ）です。インターネットを安全（あんぜん）に利用（りよう）するための情報（じょうほう）セキュリティ対策（たいさく）には、以下（いか）のようなものがあります。これらを参考（さんこう）にして、安全（あんぜん）に楽（たの）しくインターネットを利用（りよう）してください。

インターネットでは、むやみに個人情報（こじんじょうほう）をホームページや電子掲示板（でんしけいじばん）に書（か）き込（こ）んではいけません。また、信頼（しんらい）できないホームページへは、氏名（しめい）や住所（じゅうしょ）などの個人情報（こじんじょうほう）を登録（とうろく）してはいけません。

さんしょう P.3 個人情報（こじんじょうほう）の取（と）り扱（あつか）いに注意（ちゅうい）しよう

人（ひと）のプライバシー情報（じょうほう）をインターネットで公開（こうかい）してはいけません。また、他人（たにん）の電子（でんし）メールをだまって読（よ）むことも、プライバシーの侵害（しんがい）になります。

さんしょう P.5 プライバシーの保護（ほご）

ウイルスからコンピュータを守（まも）るためには、ウイルス対策（たいさく）ソフトが必要（ひつよう）です。

さんしょう P.6 ウイルスって何（なに）？

悪意（あくい）のあるホームページは、見（み）ただけでコンピュータシステムを破壊（はかい）したり、ウイルスに感染（かんせん）させたり、情報（じょうほう）が盗（ぬす）み出（だ）されてしまったりすることがあります。これらのホームページはできるだけ見（み）ないようにすることと、ウイルス対策（たいさく）ソフトが必要（ひつよう）です。

さんしょう P.8 悪意（あくい）のあるホームページ



総務省

国民のための情報セキュリティサイト



「エンドユーザー」の情報セキュリティ対策：小学生

ウイルス対策（たいさく）ソフトを入（い）れるだけではなく、OS（オーエス）、Web（ウェブ）ブラウザ、電子（でんし）メールソフト、Office（オフィス）アプリケーションなどにも追加（ついか）ソフトウェアを入（い）れることが必要（ひつよう）です。

さんしょう P.9 ソフトウェアを最新（さいしん）に保（たも）とう

たくさんの人々（ひとびと）の間（あいだ）で、どんどんと広（ひろ）まっていく電子（でんし）メールをチェーンメールと言（い）います。このようなチェーンメールを受（う）け取（と）ったとしても、むやみに人（ひと）に送（おく）ってはいけません。

さんしょう P.10 チェーンメールに注意（ちゅうい）しよう

信頼（しんらい）できないホームページで安易（あんい）にアンケートに答（こた）えたり、電子掲示板（でんしけいじばん）に自分（じぶん）のメールアドレスを書（か）き込（こ）むことは避（さ）けましょう。

さんしょう P.11 迷惑（めいわく）メールへの対応（たいおう）

コンピュータから、インターネットに対（たい）して個人情報（こじんじょうほう）やコンピュータの情報（じょうほう）などを送信（そうしん）するソフトウェアをスパイウェアと言（い）います。スパイウェアは、プライバシーや個人情報（こじんじょうほう）を守（まも）る上（うえ）で、大（おお）きな問題（もんだい）になることもあるため、注意（ちゅうい）しなければなりません。

さんしょう P.13 スパイウェアに注意（ちゅうい）しよう